

## 主題：キリストのからだの実際

メッセージ 15

満たされてキリストの豊満へと至り、表現においてキリストのからだの実際となる

聖書：エペソ 1:22 後半-23. 3:8, 16-21. 4:13. 5:18. ヨハネ 1:16 前半.

コロサイ 1:19. 2:9-10. 啓 21:11

I. 神の啓示における中心的な事柄は、三一の神が人性においてご自身を表現するのを願っているということです——創 1:26 前半。

II. キリストの豊満としての召会は、キリストの表現と関係があるキリストのからだの重要な啓示です——エペソ 1:22 後半-23：

A. 神は御子のためにからだを得ることを願い、このからだは御子の表現のためです——コロサイ 1:18. 2:19：

1. 神の御子は偉大で、完全で、満ちあふれ、豊富です。神たる方の全豊満が、彼の中に肉体のかたちをもって住んでいます——9 節。

2. 神は彼の完全なキリストのためにからだを持って、全豊満が現され得ることを願っています——エペソ 1:22-23。

3. 神のご計画の中で召会はからだであり、神は御子のために、彼を表現する目的でそれを求めています——3:6. 5:23, 30。

B. 宇宙における神の働きは、御子において表現された豊満を用いて、御子のからだ、すなわちキリストの豊満としての召会を建造することです。

III. 豊満の意義：

A. 豊満とは豊富の完全さを通しての満ちあふれ、表現を指しています——3:8。

B. キリストの豊富が新陳代謝的にわたしたちの中に消化されるとき、それはわたしたちを構成して、キリストの表現としてのキリストの豊満、キリストのからだ、召会となります。

C. 豊満は、創造と召会における神の豊富な存在の完全な表現を意味し、キリストの中に住んでおり（コロサイ 1:19. 2:9）、キリストにある神の豊満はキリストの豊満です（エペソ 1:23. 4:13）。ですから、神の豊満とキリストの豊満は分離できません。

D. エペソ第3章で、この豊満は使徒パウロによって、「その広さ、長さ、高さ、深さ」として記述されており、それはキリストの大きさであって計り知れません。神の豊満は計り知れません——18 節。

E. キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造るとき、そしてわたしたちが力に満たされて、すべての聖徒たちと共にキリストの大きさを会得し、知識を超越した彼の愛を経験するとき、わたしたちは満たされて、神の全豊満、すなわち召会、神の団体の表現へと至り、彼の意図を完成します。この豊満の結果は召会の中の栄光です——17-19, 21 節。

F. コロサイ第1章19節の豊満は15節の神のかたち、すなわちキリストを指しています。

IV. 「わたしたちはみな、彼の豊満から……受けた」——ヨハネ 1:16 前半：

A. わたしたち信者はみな、キリストの豊満から受けました。わたしたちは彼の中の豊満を受けました。わたしたちはただ内側に命を得ただけでなく、内側に豊満を得ました——16 節前半. コロサイ 2:10。

- B. わたしたちは、豊満（永遠において計り知れない——時間と空間において計り知れない）と呼ばれる内側の源に結び付けられたことを、見る必要があります。
- C. キリストの建造の働きを通して、召会はキリストの豊満の身の丈の度量にまで到達することができます——エペソ 4:12-13。

**V. 豊満の内容は、ヨハネの文書に啓示されています：**

- A. 命—— 11:25。
- B. 復活—— 25 節。
- C. 光—— 8:12。
- D. 道—— 14:6。
- E. 食物—— 6:48。
- F. 満足—— 4:13-14. 7:37。
- G. 自由—— 8:36。
- H. 栄光—— 1:14. 17:22。

**VI. キリストの豊満を表現する条件：**

- A. キリストの建造の働きを経過する——エペソ 4:12-13：
  - 1. 建造の働きの最も重要な面は、壊すことです。神によって壊されていない者はいずれも、キリストのからだの実際を持っていませんし、キリストの豊満を持っていません——マタイ 16:18, 24。
  - 2. 神の建造の働きが遂行されるのは、言葉の務め、人の内側の光の輝き、環境における対処、キリストの豊満を経験した人からの聞き取れる静かな叱責を通してです。
- B. 神の御座に服従する——啓 4:2-3. 22:1：
  - 1. キリストの豊満である召会への中心的なかぎは、神の御座の臨在です。
  - 2. 召会の究極的完成である新エルサレムの条件は、御座にかかっています。もし御座が失われるなら、新エルサレム全体は消し去られるでしょう。

**VII. わたしたちは満たされて神の豊満へと至り、キリストのからだの実際を表現する必要があります：**

- A. 満たされて神の豊満へと至る秘訣は、絶対にわたしたちの霊の中のその霊、ミングリングされた霊の事柄です——エペソ 3:16-20. 5:18。
- B. これは感覚の事柄ではなく、信仰の中の事柄です——Ⅱコリント 4:13. 詩 116:10 前半. 参照、13 節。
- C. 主と一つ霊である者にはだれにも、供給は無尽蔵です——Ⅰコリント 6:17. ピリピ 1:19. 4:23。

**VIII. 豊満の究極的な表現（新エルサレム）には、神の栄光があります——啓 21:11. 4:3：**

- A. 新エルサレムは、神の栄光を表現する神の豊満である召会の究極の表現です。
- B. 都の内容は、神の豊満としての神ご自身です。都の外観も、神の栄光としての神ご自身です。
- C. 栄光化された信者たちは、神の究極的な表現のためです——ローマ 8:30, 21：
  - 1. 究極的に現される栄光は、神の究極的な表現であり、それは神の栄光の輝きです——ヘブル 1:3。
  - 2. その栄光の中で、わたしたちは神の豊満となって三一の神を永遠に表現します。